

# 自己評価

## 結果報告書(2019年度)

令和2年3月31日

学校法人共生学園

新横浜歯科技工士専門学校

新横浜歯科衛生士専門学校

# 目次

1. 学校の教育目的と方針 .....	2
2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画 .....	2,3
3. 評価項目の達成及び取組状況 .....	4
(1). 教育理念・目標 .....	4
(2). 学校運営 .....	5
(3). 教育活動 .....	6,7
(4). 学修成果 .....	8
(5). 学生支援 .....	9,10
(6). 教育環境 .....	11
(7). 学生の受入れ募集 .....	12,13
(8). 財務 .....	14
(9). 法令等の遵守 .....	15
4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果 .....	16

## 1. 学校の教育目的と方針

本法人は、歯科医療の一端を担う歯科技工士・歯科衛生士として、必要な専門知識及びその応用を教育すると同時に、社会のために役立つ歯科技工士・歯科衛生士を養成することを目的としている。

学校法人 共生学園の教育方針として、1本の歯を通して医療という社会的な重要性を考え、知識や技術面において優れているばかりでなく、豊かな人間性と協調性に富んだ社会人としての自覚と常識を身につける。

歯科医師と歯科技工士と歯科衛生士、そして患者様の利を求めることで社会の利となる関係性を追求する共生の思想を持った人材を育成することを方針としている。

## 2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- 1ー国家試験合格率 100パーセントの維持
- 2ーカリキュラム・シラバスの整備
- 3ー就職・進路決定率の向上
- 4ー入学者数の拡大、退学者・休学者の削減
- 5ー職員の安定した雇用体制

- 1ー国家試験合格率 100パーセントの維持

### 【新横浜歯科技工士専門学校】

今年度は、全員受験をし100%合格することが出来た。

### 【新横浜歯科衛生士専門学校】

今年度も全員受験をし100%を継続することが出来た。

- 2ーカリキュラム・シラバスの整備

### 【新横浜歯科技工士専門学校】

単位制になったことにより単位制に準じたカリキュラム・シラバス内容の充実に努める。

### 【新横浜歯科衛生士専門学校】

次年度より学校統合並びに引越しを行うタイミングでカリキュラム・シラバスの整備を行った。

### 3－就職・進路決定率の向上

#### 【新横浜歯科技工士専門学校】

各企業様からの積極的な企業説明会や企業訪問を重ね  
卒業生全員の進路を決定することが出来た。

#### 【新横浜歯科衛生士専門学校】

2、3年次に就職説明会を行い学生の意識向上を促す様努力している。  
個々に就職活動は行っているが、報告アドバイス等出来る体制を取っている。  
3月末時点で9割の学生より内定の報告を受けている。

### 4－入学者数の拡大、退学者・停学者の低減

#### 【新横浜歯科技工士専門学校】

昨年度の入学者数が10名だったのに対し  
次年度入学者数は、19名と前年対比1.9倍増  
退学者0名

#### 【新横浜歯科衛生士専門学校】

例年同様定員に達することが出来た。

退学者 5名 留年者 2名

家庭の事情等やむ負えない学生もいたが退学者を0を目指す当校としては、教職員間での情報共有をさらに強化し不安定な学生へのフォロー体制を構築していきたい。

### 5－職員の安定した雇用体制

#### 【事務局】

教職員に関しては、数名の増減はあったものの規定通りの人数は確保出来ており

4月より1名の正規雇用が決定している。

就業規則も昨年度一新をし現状に即した雇用体制となっている。

### 3. 評価項目の達成及び取組状況

#### (1). 教育理念・目標

評価項目                      適切…4、      ほぼ適切…3、      やや不適切…2、      不適切…1

1. 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか		
	新横浜歯科技工士専門学校	3
	新横浜歯科衛生士専門学校	3
2. 社会の動向を踏まえニーズに沿った教育を行っているか		
	新横浜歯科技工士専門学校	3
	新横浜歯科衛生士専門学校	3
3. 学校の理念・教育目標・育成人材像の周知は十分か		
	新横浜歯科技工士専門学校	3
	新横浜歯科衛生士専門学校	3

#### 現状

##### 【新横浜歯科技工士専門学校】

- ・『豊かな人間性と協調性に富んだ社会人としての自覚と常識を身につける。』と謳っているように  
  接遇指導を強化し挨拶や言葉遣い、掃除の指導を実践している。
- ・デジタル化が進んでおり、働き方、効率化等の教育内容の取り組みを行い、社会のニーズに沿った教育、育成  
  を努めている。
- ・体験入学やパンフレットにも謳っており様々な方向で周知をおこなっている。

##### 【新横浜歯科衛生士専門学校】

- ・『豊かな人間性と協調性に富んだ社会人としての自覚と常識を身につける。』と謳っているように  
  接遇指導を強化し挨拶や言葉遣い、掃除の指導を実践している。  
  知識や技術面においては、臨床実習期間を1年間設けており即戦力を輩出出来るよう努めている。
- ・臨床実習期間が長いことにより、現場の雰囲気や先輩方の指導を頂くことにより業界ニーズにあった人材育成  
  に努めている。
- ・体験入学やパンフレットにも謳っており様々な方向で周知をおこなっている。

#### ◆ 点検及び今後の課題    新横浜歯科技工士専門学校    9点

- ・学校理念・目的を継続的に実現をさせるため、教員、生徒だけではなく、保護者にも理解が得られるようメール  
  配信システム利用で全体の把握ができるように目指したい。
- ・引き続きSNSや体験入学、パンフレット等を活用して入学前からしっかりと周知していきたい。

#### ◆ 点検及び今後の課題    新横浜歯科衛生士専門学校    9点

- ・実習期間は、十分に設けているものの学生によって実習意欲に差があり、結果として技術向上にも差が出てい  
  る。
- ・2年後の新設に向け新たな機材、設備に関しては思案している。

・引き続きSNSや体験入学、パンフレット等を活用して入学前からしっかりと周知していきたい。

## (2). 学校運営

評価項目                      適切…4、      ほぼ適切…3、      やや不適切…2、      不適切…1

1. 教育目的等に沿った運営方針が策定されているか		
	新横浜歯科技工士専門学校	3
	新横浜歯科衛生士専門学校	3
2. 運営方針に沿った事業計画が策定されているか		
	新横浜歯科技工士専門学校	4
	新横浜歯科衛生士専門学校	4
3. 組織体制について運営組織や意思決定機能は、明確化されているか、有効に機能しているか		
	新横浜歯科技工士専門学校	3
	新横浜歯科衛生士専門学校	3
4. 人事、給与に関する規程・コンプライアンス体制等は整備されているか		
	新横浜歯科技工士専門学校	3
	新横浜歯科衛生士専門学校	3
5. 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか		
	新横浜歯科技工士専門学校	3
	新横浜歯科衛生士専門学校	3

### 現状

- ・学校運営方針は年度初めの教職員会議において各部署の事業計画・目標及び業務の円滑化を図るための業務分掌の説明がされる。
- ・年度の事業計画は、各部署にて事業計画を検討、3月に開催される理事会・評議員会において決定され、教職員会議にて教職員に周知される。なお、年12回開催される教職員会議で各部署の進行状況が明確に報告されている。
- ・人事・給与については、就業規則・給与規定に基づいて決定されている。
- ・コンプライアンスについては、各種法令に基づいて教職員に周知されている。
- ・教育活動等の詳細な学校情報については2019年度よりホームページにて情報公開を行った。

### ◆ 点検及び今後の課題 新横浜歯科技工士専門学校 16 点

- ・朝のミーティングと毎月教職員会議を開催し共通認識を一致させ安定した学校運営が行われている。
- ・毎月教職員会議を開催することにより明確な事業計画の策定が出来ている。
- ・組織体制は、整っており教職員内での風通しはよいのでスムーズに決定事項が行えている。
- ・4. 5に関しては、適切に行われている。

◆ 点検及び今後の課題 新横浜歯科衛生士専門学校 16 点

- ・朝、夕のミーティングと毎月教職員会議を開催し共通認識を一致させ安定した学校運営が行われている。
- ・組織体制は、整っており教職員内での風通しはよいのでスムーズに決定事項が行えている。
- ・毎月教職員会議を開催することにより明確な事業計画の策定が出来ている。
- ・4. 5に関しては、適切に行われている。

(3). 教育活動

評価項目                      適切…4、      ほぼ適切…3、      やや不適切…2、      不適切…1

1. 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか		
	新横浜歯科技工士専門学校	3
	新横浜歯科衛生士専門学校	3
2. 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか		
	新横浜歯科技工士専門学校	3
	新横浜歯科衛生士専門学校	3
3. キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか		
	新横浜歯科技工士専門学校	3
	新横浜歯科衛生士専門学校	4
4. 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成見直し等、外部による評価が行われているか		
	新横浜歯科技工士専門学校	3
	新横浜歯科衛生士専門学校	3
5. 授業評価の実施・評価体制はあるか		
	新横浜歯科技工士専門学校	3
	新横浜歯科衛生士専門学校	3
6. 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確に示されているか		
	新横浜歯科技工士専門学校	3
	新横浜歯科衛生士専門学校	3
7. 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか		
	新横浜歯科技工士専門学校	3
	新横浜歯科衛生士専門学校	3
8. 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか		
	新横浜歯科技工士専門学校	3
	新横浜歯科衛生士専門学校	3
9. 関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保		

するなどマネジメントが行われているか		
	新横浜歯科技工士専門学校	3
	新横浜歯科衛生士専門学校	3

10. 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導 力育成など資質向上のための取組が行われているか		
	新横浜歯科技工士専門学校	3
	新横浜歯科衛生士専門学校	3

## 現状

### 【新横浜歯科技工士専門学校】

- ・国家試験取得に向けたカリキュラムの編成を行い、全体、個別での指導を行っている。
- ・講義で各項目を先行したのち、実技実習の理解ができるように編成をしている。
- ・専門知識を理解し、発表、実践する授業を実施している。
- ・業界関連企業との授業の取り組みを行い、各企業の知識、技術を連携し授業の実施を行っている。
- ・現状、明確な評価体制は出来ていない。
- ・学則に基づいて適切な成績評価、単位数で行っている。
- ・最終目標である国家試験合格のための指導体制、カリキュラムを作っている。
- ・専門性知識を要するため、学生数に対し教員の確保はできている。

### 【新横浜歯科衛生士専門学校】

- ・教育理念である「知識、技術に富み、医療人としての自覚と常識、豊かな人間性と協調性を身につけた人材を育成する」為の教育課程の編成・実施方針を策定している。
- ・教育理念に加え、「卒業後に即戦力として社会に貢献出来る」事を到達レベルとして、知識、手技を身に付ける為の学習時間を確保している。
- ・ノンテクニカルスキルや能動的な姿勢を高める為に、接遇やアクティブラーニングを取り入れた講義や実習を多く取り入れている。
- ・月1回以上、関連施設等とコミュニケーションを取り、改善点をカリキュラムに反映させている。
- ・年2回、学生による授業評価を実施し、改善を図っている。
- ・明確にされている。
- ・学年毎に、基礎、応用、復習と段階を踏んで指導体制を整えている。
- ・資格、経験を備えた教員を確保している。また、社会で活躍している卒業生を指導者とし、学生へは生きた育成を、継続的に行っている。
- ・体制を整えている。
- ・講習会の参加や全教員での勉強会を定期的に行い、知識、技能を共有し、知識と技術の向上に努めている。



- ◆ 点検及び今後の課題 新横浜歯科技工士専門学校 30 点
  - ・授業評価については教案に含め、明確な基準項目を作れるよう努める。
  - ・先端的な知識・技能については教育目的に有効と思われる内容を各教員が情報収集や研修会参加を積極的に行い資質向上に努めたい。
  
- ◆ 点検及び今後の課題 新横浜歯科衛生士専門学校 31 点
  - ・次年度の編成、実施方針の決定に向け、改善点を常に模索する。
  - ・確保した時間で到達出来ない学生を把握出来るよう、到達程度を明確にする。
  - ・学生の個々に合わせた対応をさらに増やしていく。
  - ・カリキュラムの中で、可能な限り反映までのスピードを速める。
  - ・学生ニーズを詳細に知る為の評価方法を模索する。
  - ・継続して行っていく。
  - ・今後も全員が資格取得出来るよう、指導体制を万全にする。
  - ・育成の為に、今後も知識、技能だけでなく、人間性を重視し、人材を確保する。
  - ・継続して行っていく。
  - ・学生へ生きた教育を行えるよう、常に今を把握する。

(4). 学修成果

評価項目                      適切…4、      ほぼ適切…3、      やや不適切…2、      不適切…1

1. 明確な基準に基づいた実践能力及び学習能力を単位履修の認定基準にしているか		
	新横浜歯科技工士専門学校	4
	新横浜歯科衛生士専門学校	4
2. 資格取得率の向上が図られているか		
	新横浜歯科技工士専門学校	4
	新横浜歯科衛生士専門学校	4
3. 就職率の向上が図られているか		
	新横浜歯科技工士専門学校	3
	新横浜歯科衛生士専門学校	3
4. 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか		
	新横浜歯科技工士専門学校	3
	新横浜歯科衛生士専門学校	3

現状

【新横浜歯科技工士専門学校】

- ・歯科技工士養成所規則に基づいた授業時間を十分満たしている。
- ・就職率については、個別での相談、フォローを行い、就職希望者は100%の就業である。
- ・1年次から就職授業を行い、就職するための意識付けをしている。
- ・すべての卒業生の把握には至っていない。

【新横浜歯科衛生士専門学校】

- ・単位修復の認定基準は明確である。
- ・近年は例年、在校生100%受験、100%合格の実績がある。
- ・ほとんどの学生が歯科関連施設へ就職をするが、一部他業種に就職を希望する学生がいる。
- ・卒業後も卒業生の状況を確認し、基本的な事からさらに広げた知識・技能が身に付くよう指導している。

◆ 点検及び今後の課題 新横浜歯科技工士専門学校 14 点

- ・卒業後のキャリア形成の把握は一部の情報でしかなく、定期的な調査に努め、学校授業の参加にも協力要請をし、学校教育に活かしたい。

◆ 点検及び今後の課題 新横浜歯科衛生士専門学校 14 点

- ・実践能力については、さらに詳細な基準を設け、取りこぼしの無いようにする。
- ・早期より国家試験を視野に入れた取り組みをし、さらに確実なものとする。
- ・資格を活かしながら、幅広い職種に就けるという知識を得られるよう指導する。
- ・卒業生のデータをさらに集め、学習内容に反映する。

(5). 学生支援

評価項目                      適切…4、      ほぼ適切…3、      やや不適切…2、      不適切…1

1. 進路・就職に関する支援体制は整備されているか		
	新横浜歯科技工士専門学校	3
	新横浜歯科衛生士専門学校	3
2. 学生相談に関する体制は整備されているか		
	新横浜歯科技工士専門学校	3
	新横浜歯科衛生士専門学校	3
3. 学生の健康管理を担う組織体制はあるか		
	新横浜歯科技工士専門学校	3
	新横浜歯科衛生士専門学校	3
4. 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか		
	新横浜歯科技工士専門学校	2
	新横浜歯科衛生士専門学校	2

## 現状

### 【新横浜歯科技工士専門学校】

- ・在校生への職場見学と企業説明会(2日間)行っている。その他、日々の相談
- ・少人数制なので、教員間での生徒の情報共有は出来ており体制は整っている。
- ・毎朝教務室前での挨拶を徹底させ生徒の顔色等状況を把握するようにしている。
- ・インターンシップ等積極的に取り入れている。

### 【新横浜歯科衛生士専門学校】

- ・就職ガイダンスを年数回取り入れている。
- ・少人数制なので、教員間での生徒の情報共有は出来ており体制は整っている。
- ・毎朝教務室前での挨拶を徹底させ生徒の顔色等状況を把握するようにしている。
- ・インターンシップ等積極的に取り入れている。

#### ◆ 点検及び今後の課題 新横浜歯科技工士専門学校 11 点

- ・技工士不足により数ある求人募集から学生が自分に合った企業の選定が難しい。  
自分が就職して何をしたいか、どういう技工士造を目指したいかを導く支援が必要と考える。  
社会保険等福利厚生を理解も分かり易く伝えられる、ガイダンスにしていく必要がある。
- ・生徒の健康管理を徹底することにより退学者、留年者0人につながると考え挨拶運動をはじめコミュニケーションを多く取れる環境の整備が必要。

#### ◆ 点検及び今後の課題 新横浜歯科衛生士専門学校 11 点

- ・衛生士不足により求人募集が多すぎてどのように選定して良いか迷うケースがある。  
自分が就職して何をしたいか、どういう衛生士造を目指したいかを導く支援が必要と考える。  
社会保険等福利厚生を理解も分かり易く伝えられる、ガイダンスにしていきたい。
- ・生徒の健康管理を徹底することにより退学者、留年者0人につながると考え挨拶運動をはじめコミュニケーションを多く取れる環境の整備が必要。

## (6). 教育環境

評価項目 適切…4、 ほぼ適切…3、 やや不適切…2、 不適切…1

1. 施設・整備は、教育上の必要性に十分対応できているか		
	新横浜歯科技工士専門学校	3
	新横浜歯科衛生士専門学校	3
2. 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか		
	新横浜歯科技工士専門学校	3

	新横浜歯科衛生士専門学校	4
3. 防災、安全管理にたいする体制は整備されているか		
	新横浜歯科技工士専門学校	3
	新横浜歯科衛生士専門学校	3
4. 防火訓練を実施しているか		
	新横浜歯科技工士専門学校	3
	新横浜歯科衛生士専門学校	3

#### 現状

- ・当校も技工士学校は40年以上、衛生士学校は30年以上の歴史があり機材設備に関しても、歴史も学べ又現状に応じて新しい機器の導入をすることにより十分に対応できている。
- ・歯科医療に関わる実習施設との連携はとれている。
- ・安全管理は、マニュアル化されており、防災訓練は5月と10月に実施をしている。

#### ◆ 点検及び今後の課題 新横浜歯科技工士専門学校 12 点

- ・基礎実習に関しては問題ないがCADなどの最新技術に関しては、教員の積極的な勉強会やセミナー参加が必須である。
- ・歯科医療に関わる実習施設を他にも取り入れられるよう計画していく。
- ・教職員と生徒の安全の為、引き続き防災訓練等しっかりと行っていく。

#### ◆ 点検及び今後の課題 新横浜歯科衛生士専門学校 13 点

- ・歯科医療に関わる実習施設を他にも取り入れられるよう計画していく。
- ・教職員と生徒の安全の為、防災意識の向上を目指して引き続き防災訓練等しっかりと行っていく。

### (7). 学生の受入れ募集

評価項目 適切…4、 ほぼ適切…3、 やや不適切…2、 不適切…1

1. 学生募集活動は、適正に行われているか		
	新横浜歯科技工士専門学校	3
	新横浜歯科衛生士専門学校	3
2. 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか		
	新横浜歯科技工士専門学校	3
	新横浜歯科衛生士専門学校	3
3. 学納金は妥当なものとなっているか		
	新横浜歯科技工士専門学校	4
	新横浜歯科衛生士専門学校	4

#### 現状

【新横浜歯科技工士専門学校】

- ・定期的な学校訪問と民間が主催するガイダンスには積極的に参加している。
- ・パンフレットや資料を用いてわかりやすく説明を行っている。
- ・関東圏内の技工士専門学校と比べても特段高い金額ではなく妥当であるとする。

【新横浜歯科衛生士専門学校】

- ・定期的な学校訪問と民間が主催するガイダンスには積極的に参加している。
- ・パンフレットや資料を用いてわかりやすく説明を行っている。
- ・関東圏内の衛生士専門学校と比べても金額を抑えており妥当な金額と考える。

◆ 点検及び今後の課題 新横浜歯科技工士専門学校 10点

- ・とにかく技工士という認知度が低いので昨年同様に継続した学校訪問と積極的なガイダンス参加が必要と考える。
- ・パンフレットや資料をより充実させよりわかりやすく伝えられるように努力する。
- ・世の中の情勢や他校様の状況に応じて適正に判断をしていく。

◆ 点検及び今後の課題 新横浜歯科衛生士専門学校 10点

- ・世の中は、衛生士不足で歯科医院が困窮している為昨年同様に継続した学校訪問と積極的なガイダンス参加をし定員を切らせない学生募集を行っていく。
- ・パンフレットや資料をより充実させよりわかりやすく伝えられるように努力する。
- ・世の中の情勢や他校様の状況に応じて適正に判断をしていく。

(8). 財務

評価項目 適切…4、 ほぼ適切…3、 やや不適切…2、 不適切…1

1. 中長期的に学校の財務基盤は安定しているか		
	学校法人共生学園	4
2. 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか		
	学校法人共生学園	2
3. 財務について会計監査が適正に行われているか		
	学校法人共生学園	3
4. 財務情報公開の体制整備はできているか		
	学校法人共生学園	4

現状

- ・財務基盤は、学校建替えの検討予算を入れても安定的なものであると考えている。
- ・予算・収支計画は、今回の学校統合により想定以上の費用が支出されてしまった。
- ・予算をたてる段階での検討範囲が狭かったと考える。
- ・会計監査は、適切に行われている。
- ・昨年度より公開体制は整備されている。

◆ 点検及び今後の課題 学校法人共生学園 13点

- ・財務基盤をより強固なものにする為、税理士との打合せを密に行いしっかりとした事業計画を立てていく。(月次決算、毎月の課題等の共有)
- ・予算に関しても税理士との打合せを密にし漏れの無い様に予算立てしていく。
- ・引き続き適正に行う。
- ・継続して行う。

(9). 法令等の遵守

評価項目 適切…4、 ほぼ適切…3、 やや不適切…2、 不適切…1

1. 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	学校法人共生学園	4
2. 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	学校法人共生学園	3
3. 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	学校法人共生学園	3
4. 自己評価結果を公開しているか	学校法人共生学園	4

現状

- ・県や各専門機関との連携を密にして適正な運営を行えている。
- ・教職員又は学生の個人情報は事務所内の施錠出来る環境で保管をしている。
- ・今年度からスタートした為、学校全体が考えるきっかけとなり前進出来ている。
- ・今年度より公開する。

◆ 点検及び今後の課題 学校法人共生学園 14点

- ・2022年4月には、新校舎になり法令、専修学校設置基準等の遵守は徹底して行っていく必要があり、引き続き県や各専門機関との擦り合わせを密にして申請に漏れが無い様に手続きを行っていく。
- ・紙媒体の個人情報の管理はもとより、PC内で管理している情報が一番危険と考える。セキュリティの強化と教職員の意識向上に努めていきたい。
- ・自己評価、さまざまな角度からご意見を頂きより健全で学生が学びやすい環境を構築していく。

## 4. 今年度の目標や計画の総合的な評価結果

【全体】

共生学園は、2020年4月より新横浜歯科技工士専門学校と新横浜歯科衛生士専門学校が統合し、新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校となります。校舎は、改修工事後2020年4月より2年間新横浜歯科技工士専門学校の建物を使用し2022年4月に新横浜歯科衛生士専門学校跡地と隣接地を使用し新校舎を設立予定。引越しを2度に渡り行うので、学生が安心、安全に学習できる教育環境の確保を最優先に考え事業計画していく。統合することにより得られる効果を最大限に活用し学生に対して良い影響を与えていきたい。

教育面では、今年度も国家試験合格者100%を維持出来たものの、ギリギリまで学力が上がってこない生徒がおり次年度への大きな課題となる。教員が生徒一人ひとりの特性を早めに理解をし課題克服に努めていく。次年度より学校統合することにより、歯科医療全体を見据えチーム医療の実践を行っていく。

#### 【新横浜歯科技工士専門学校】

学校統合により、学校生活の送り方を見直し社会に出て恥ずかしくないように身だしなみ、挨拶、礼儀マナー教育を行っていく。学習面では、各教員がクラス全体の状況把握しどんな学生であっても国家試験合格レベルまでしっかりと持ち上げる体制を構築する。

1年生は、個人の状況も見ながら実習、授業での基礎を徹底しフォローする。

2年生は、特に大人しく感じるため、実習での発言や行動に積極性を持たせるため、実習後の簡単なプレゼン発表や説明をさせる機会を多くした授業内容を取り入れる。

#### 【新横浜歯科衛生士専門学校】

退学者・留年者ゼロは、もちろんのこと衛生士に大切なコミュニケーション能力を養うべく接遇(身だしなみ、挨拶、礼儀マナー)を徹底指導し社会に出てからの即戦力となる人材輩出を目指す。

1年生は、体調管理やスケジュール管理など自己管理能力を身につけさせる。学力も早めに把握をしフォローできる体制を整える。

2年生は、勉強する習慣づいていない学生が多いので、朝や放課後等を活用し予習、復習の習慣をつけ学力アップを目指す。

3年生は、国家試験合格に向け昨年の反省から国家試験対策を前期より行い、勉強計画表を作成し進捗状況を確認できる体制を整える。中だるみしないような指導、教育方法を考える。